



マツダ×横浜市ふるさと納税返礼品 第2弾が登場

「走る喜び」をかたちに、「マツダ・プレミアムドライビングレッスン」の受付を開始

横浜市は、ふるさと納税の返礼品として、マツダ株式会社(以下「マツダ」という。)とコラボレーションした体験型返礼品「マツダ・プレミアムドライビングレッスン」の第2弾の提供を決定しました。本寄附の受付期間は、2026年7月29日(水)10時から8月16日(日)23時59分までとなります。

2025年に初開催した本返礼品は、即日で受付枠が埋まるなど、大変ご好評をいただき、マツダファンのみならず幅広い自動車ユーザーから関心を集めました。こうした反響を受け、第2弾では、開催時間を前回の半日から1日へと拡充し、参加者と開発者がより丁寧に対話をしながら学びを深められる内容へと進化させました。

本返礼品では、マツダの独自価値である「走る喜び」の創造に携わってきた、「操縦安定性能エンジニア」の虫谷泰典(むしたに やすよし)*氏と匠たちによるドライビングレッスンを実施します。さらに、マツダの「ひと中心」の思想でもある、「骨盤を立てる」ことでドライビングや日常の動作にもたらす効果を体験いただくなど、普段は気づかないドライビングと身体の関係性を学んでいただける特別なプログラムとなっています。ご自身の愛車で参加できる本プログラムの特長を生かしながら、クルマを操る楽しさや運転への新たな気づきを深めていただける機会をお届けします。

*本返礼品では通称「虫ちゃん」

マツダ株式会社 クルマ開発本部 首席エンジニア 虫谷泰典氏のコメント

「クルマは単なる移動手段ではなく、ひとの意思や感情を揺さぶり、行動範囲や可能性を広げる力があると私たちは信じています。参加者一人ひとりに合わせたレッスンを通じて、ご自身の愛車で運転する楽しさを再発見していただき、『もっと運転したい』『いろんな場所へ出かけたい』と思える体験をお届けします」



「マツダ・プレミアムドライビングレッスン」のイメージ

1 「マツダ・プレミアムドライビングレッスン」返礼品概要

- (1)返礼品名 : 虫ちゃん率いる匠たちが集結！マツダ・プレミアムドライビングレッスン
- (2)開催日 :【第1回】 2026年9月20日(日)
【第2回】 2026年9月21日(月・祝)
【第3回】 2026年9月22日(火・休)
- (3)開催時間 : 各日共通 9:00～16:30
- (4)開催場所 : 横浜市神奈川区守屋町2丁目5番地 マツダR&Dセンター横浜
- (5)募集人数 : 各日8名 合計24名

(6)主な体験内容:

- ・マツダ車の乗り味を作り込んできた虫ちゃんが語る！ひと中心のクルマづくり
- ・あなたの知らない「骨盤を立てるといい理由」 ひとを尊重し、ひとの力を信じる
- ・ひとの身体能力を活かすクルマとは？ オドロキの試乗体験
- ・「あなたの身体能力を引き出すドラポジ」フィッティング
- ・虫ちゃん直伝！あなたの愛車で、世界一遅い！？ドライビングレッスン
- ・マツダR&Dセンター横浜 敷地内バックヤードにてレア車と記念撮影
- ・匠たちとの Q&A セッションなど

※下線は、匠たちによるマンツーマンレッスン

(7)参加要件:

- ・寄附1件につき、1名様のみ参加可(付き添いは1名様まで参加可)
 - ・18 歳以上で自動車運転免許保持者、自家用車でご来場いただける方
- なお、マツダ車以外での参加も可能

2 寄附受付について

- (1)受付期間:2026 年7月29日(水)10:00 ～ 2026年8月16日(日)23:59
- (2)寄附金額:1件 130,000 円 (体験代・弁当代・参加証等を含みます)
- (3)寄附方法:横浜市ふるさと納税独自サイトから、お申し込みください。
横浜市ふるさと納税独自サイト:<https://furusato-yokohama.jp/articles/17/>

3 その他

- (1)台風等の影響により、やむを得ず開催を延期する場合は、事前にご連絡のうえ、2026 年 9 月 23 日(水・祝)もしくは 2026 年 9 月 24 日(木)を予備日として振替開催いたします。なお、災害の発生その他の事情により、安全な開催が困難と判断した場合は、予備日を含め中止することがあります。中止範囲や対応方法については、状況に応じて個別にご案内します。
- (2)募集人数に達し次第、寄附受付は終了いたします。
- (3)平成 31 年 4 月 1 日総務省告示により、横浜市内在住の方は横浜市返礼品を受け取れません。
- (4)画像は全てイメージです。記載の内容について、予告なく変更する場合があります。

【参考 マツダ株式会社 マツダ R&D センター横浜について】

マツダ株式会社(本社、広島県)の首都圏における研究拠点として、1987年に「マツダ横浜研究所」を横浜市神奈川区に開所し、1990年に「マツダ R&D センター横浜(MRY:Mazda R&D Center Yokohama)」へと名称を変更。当施設は、日本における自動車産業の歴史にも名を連ねるアメリカのフォード社が、1927年に構えた「日本フォード」の組立工場を起点としており、フォードと提携関係にあったマツダがその建物と土地を取得した。なお、当時の組立工場の骨組みを一部残したまま現在の建物に活用されており、横浜市や日本における自動車生産の歴史を肌で感じることができる施設となっている。
(通常、一般非公開)



【参考 操縦安定性能エンジニア 虫谷泰典氏について】

近年のマツダ車の「乗り味」をつくりこむ、クルマ開発本部の首席エンジニア。クルマにラジコン、サッカーが大好きだった少年時代を経て、高校ではサッカーのユース日本代表に。数多のスカウトを受けるも、クルマに携わる夢を捨てきれず、マツダに入社し、マツダサッカークラブ(現サンフレッチェ広島)に所属。プレミアリーグ(イングランド)への留学も果たすが、世界レベルの技術やメンタリティの差に衝撃を受け、悩んだ末、「35歳の時に胸を張ってマツダのエンジニアだと言えるようになろう」と人生をリ・スタート。地道な努力を重ね、クルマの信頼性能や操縦安定性能などの開発に携わる。海外駐在後に手がけたプレマシーが評価され、現在のマツダ車に共通する独自の「乗り味」の基盤を作り上げたひとり。Web/雑誌など取材記事多数。



お問合せ先			
ふるさと納税に関すること			
政策経営・国際戦略局	ふるさと納税担当課長	西海	Tel 045-671-4808
返礼品の内容に関すること			
マツダ株式会社 R&D 革新本部	担当	内田、小野	MRY-furusato@mazda.co.jp